

学会ニュースNo.114 トピックス

- ・2015年度(第70回)総会・研究発表大会プログラム
- ・第111回臨地研究会(横浜)報告
- ・講演会開催のお知らせ(第2報)
- ・地理学教室だより
- ・地理トピ
- ・会費納入のお願い

会告

○2015年度(第70回)総会・研究発表大会プログラム

日時:2015年6月6日(土)9:30より

会場:立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ 2階
A203 教室(発表会場)・A202 教室(会員控室)

《口頭発表1》 9:30~10:30 ※口頭発表は質疑応答を含めて20分(発表15分、質疑応答5分)。*は発表者。

A1 9:30~9:50 大石雅之(立正大):八ヶ岳火山東麓で9世紀に発生した山体崩壊の誘因の再検討

A2 9:50~10:10 森本 拓(立正大・院)*・岩田真輝(株式会社エフティコミュニケーションズ):小櫃川上流における穿入蛇行地形の非対称谷、対称谷の形成差異

A3 10:10~10:30 小川滋之(千葉大学大学院園芸学研究科):東アジアにおけるスイゼンジナの産地分布と葉形態の違い

《ポスター発表紹介》 10:30~10:40(各発表1分程度)

※掲示時間は9:30~16:00, 掲示場所は会場の掲示をご覧ください。コアタイムは12:25~13:05とします。

P1 河野 忠(立正大):江戸時代における東京の水文環境の復元

P2 吉本 勇(就実大):ブリスベン(オーストラリア)における都市景観の変容(2003-2014)

P3 鈴木正弘(埼玉県立所沢西高):小川一朗の幼・少・青年時代—地理学者・地理教育者へと歩み出すまで—

P4 片柳 勉(立正大):観光まちづくりへの貢献をテーマとした地域連携による教育・研究活動の有用性

P5 戸田真夏(青山学院大・非):房総半島の岩石の強度に対する水の影響

P6 郷原裕生*・高橋宏光(立正大・院)・片柳 勉(立正大):大津市坂本における土地利用の変化

P7 船生泰寛*・高松亮子・後藤 啓(立正大・院)・鈴木健勇・遠藤方己・樺澤 光・岡崎茉由子・河野修平・野本 孝・大塚 恵・飛田泉洋・小池明恵(立正大・学):秋田県六郷扇状地の地下水について

P8 山田淳一*(立正大)・郷原裕生(立正大・院)・稲葉裕哉・山田旭仁・永西修也(立正大・学):国営武蔵丘陵森林公園へのアクセスにおけるバスマップ掲載情報の整理と検討

P9 小川滋之*・水野大樹・百原 新・加藤 顕(千葉大学大学院園芸学研究科):ニュージーランド、クライストチャーチ近郊の河川にみられる植物の特徴

2015年5月

《総会》10:45～11:35

《昼休み》11:35～12:25

A202 教室にて、古今書院等による展示・販売の予定です。

《ポスター発表のコアタイム》12:25～13:05

《口頭発表2》13:05～14:25 ※口頭発表は質疑応答を含めて20分(発表15分、質疑応答5分)。*は発表者。

A4 13:05～13:25 岡田 登(立正大・外部研究員):日本における野菜生産組織の分布

A5 13:25～13:45 岩動志乃夫(東北学院大):南三陸さんさん商店街の機能特性と今後の課題

A6 13:45～14:05 荒田大智(常磐大・卒)・元木理寿(常磐大)*:土浦カレーフェスティバルの取り組みとその課題

A7 14:05～14:25 横畠康吉(徳島大・非)*・大塚昌利(立正大・名)・松井秀郎(立正大):徳島県美馬市美馬町における地域活性化の展開—みまから(青唐辛子)の六次産業の取り組み—

《休憩》14:25～14:30

《口頭発表3》14:30～15:50 ※口頭発表は質疑応答を含めて20分(発表15分、質疑応答5分)。*は発表者。

A8 14:30～14:50 森田匡俊(岐阜聖徳学園大)*・服部亜由未・小池則満・中村栄治(愛知工業大):GPSデータを用いた海水浴場における津波避難誘導の分析

A9 14:50～15:10 初澤敏生(福島大):博物館における防災教育と防災のまちづくり—静岡県袋井市と和歌山県広川町を例に—

A10 15:10～15:30 萩原八郎(四国大):ブラジルタウン大泉町の多文化共生の現状

A11 15:30～15:50 高村弘毅(立正大・名)*・Tashpolat Tiyip(Xinjiang Uni.China)・鹿島 薫(九州大):近年におけるWataridの研究動向と、中央アジア地域の研究・JICA事業推進の必要性

《休憩》15:50～16:00

《会長公演》16:00～17:00 内山幸久(立正大):『果樹生産地域の展開—長野県小布施町の例—』

《懇親会》17:15～19:15 学生食堂 ステラ(1階)で行います。

《地理写真》※掲示時間は9:30～16:00、掲示場所は会場の掲示をご覧ください。

G1 多田統一(東京都立浅草高・非):「地理の目」写真展の6年(私地研主催)

G2 福田絵実子・高本志保・水村賢人(立正大・学):山梨県富岳風穴と蝙蝠穴における微地形と微気候

G3 遠藤 卓(立正大・院):シンガポールの都市景観

G4 郷原裕生・高橋宏光・武江翔太・豊留健太(立正大・院):台北の都市景観

- G5 郷原裕生・高橋宏光・武江翔太・豊留健太(立正大・院):台湾の生活と文化
- G6 森本 拓(立正大・院):台湾の人文・自然景観
- G7 森本 拓(立正大・院):歴史ある奈良の町なみー今井町、五條新町ー
- G8 岡部将大(立正大・院):種子島における観光資源
- G9 岡部将大・小林瑞輝・森本 拓(立正大・院)・小柴圭史(協振技建)・門間哲司(大輝):
伊豆大島 FW:火山島の自然景観
- G10 林 悠司(立正大・学):平沼高原における高原地域の植生分布
- G11 大石雅之(立正大):三宅島火山 2000 年噴火による周辺環境の変化
- G12 土屋貴彦(立正大・卒):長崎市における都市景観
- G13 土屋貴彦(立正大・卒):福岡市中洲地区における屋台群
- G14 亀井啓一郎(立正大・非):港北ニュータウン中心部の景観変容
- G15 石川充汰・牛塚 曜・戸沢幸子・田中島匠吾(立正大・学):山梨県早川町七面山周辺
における主要な滝と土砂堆積環境
- G16 小川修一・栗栖 陸(立正大・学):三陸鉄道沿線の復興状況
- G17 横山貴史(立正大):チリの海藻産業
- G18 松尾忠直(立正大):港町「小樽」
- G19 岩井田慧祐・関本雄太・北嶋享平・伊藤美智子・細野宏一郎(立正大・学):津波の爪
痕～岩手県宮古にて～
- G20 秋山菜里・菅野椋太・保坂賢宏・真木雄平(立正大・学):被災地から学ぶ防災～岩手
県宮古市田老地区～
- G21 梅賀亮太・小田木るり・稲葉一貴・奈須昌弘・戸澤右門・木村祐介・伊師謙太郎・軽部
晴日(立正大・学):屋久島探検隊

○第 111 回臨地研究会(横浜)報告

2014年11月23日(日)、大塚昌利会員、戸田真夏会員、小田巻滋会員、田村健太郎会員の案内により、第111回臨地研究会が神奈川県横浜市において行われた。テーマは「浦里から国際港都横浜へ その原点 旧居留地の変貌」、参加者は27名であった。

当日は、関内駅前から徒歩で出発、横浜みなとみらい 21 へと向かった。途中、巖島神社、港町魚市場跡、吉田橋関門跡、近代街路樹発祥之地などを観察しながら、地形と都市の形成の関係や土地利用がどのように変化してきたのかについて説明があった。

横浜みなとみらい 21 では、横浜ランドマークタワーの SKY GARDEN(69 階展望フロア)へと上がり、市街地を高さ 273m から観察した。展望フロアには、1993 年(横浜ランドマークタワー開業時)と 2012 年の市街地を比較することのできる写真が各所に展示されており、解説をもとに過去と現在を比較することができた。

横浜みなとみらい 21 から横浜赤レンガ倉庫へ向け、横浜ワールドポーターズを通るグループと自動車道を通るグループに分かれて移動した。同倉庫では、ロールス・ロイス & ベントレー DAY2014 が開催されており、赤レンガ倉庫とクラシックカーのレトロな雰囲気を楽しむことができた。

中華街へと移動後、横濱中華學院の謝賢榮先生から中華街の成立過程や、門の配置、その色や意味などを解説いただいた。さらに、関帝廟や媽祖廟では、開廟された経緯や人々の信仰の歴史について紹介があり、参加者はメモや写真撮影をしながら詳しく知ることができた。その後、中華街から元町へと移動し、ジェラルム水屋敷地下貯水槽跡を見学した後、元町の巖島神社の境内で巡検が終了した。

今回の臨地研究会では、横浜港の開港を画期として横浜の街がどのように変化してきた

のかを知ることができた。さらに中華街で暮らす人々の生活について、現地の方から直接お聞きする機会が得られたことは、貴重な時間であった。臨地研究会のご案内と力作の臨地研究会資料を準備いただいた大塚昌利会員、戸田真夏会員、小田巻滋会員、田村健太郎会員、謝賢榮先生の5名には記して厚くお礼申し上げる。



ドックヤードガーデン(国重要文化財)にて(小田巻滋会員撮影)
(集会委員 松尾忠直)

○講演会開催のお知らせ(第2報)

前号でもお知らせしましたように、本年度の秋季例会は地理学教室創立90周年記念事業の一部として、東京において講演会を行います。講演者および題目は次号の学会ニュースにてお知らせする予定です。

日時:2015年11月3日(火)13時30分~15時30分(予定)
場所:アルカディア市ヶ谷 3階 富士(東)の間

☆地理学教室だより☆

立正大学地理学科では今年度から1名の新しい先生をお迎えいたしました。今回の地理学教室だよりでは、新しく着任された横山貴史先生からのご挨拶を掲載いたします。

○横山貴史先生よりご挨拶

4月に地理学科助教として着任いたしました横山貴史です。

茨城県石岡市の出身で、学部・大学院修士課程は茨城大学、大学院博士後期課程は筑波大学で学びました。その後、神奈川大学人間科学部に特任助教として2年間勤務いたしました。

専門分野は漁業地理学です。特に、漁業者の漁場利用形態や漁業資源管理に関心を持っております。たとえば博士論文では、宮城県牡鹿半島の漁村をフィールドとして、持続的なカキ養殖漁場の利用形態とそれを支える地域的な基盤について、経済的側面と社会的



側面から研究しました。現在は、これらに加え、南米チリにおける漁業管理政策と小規模漁業者との関係についての研究をはじめました。さらに、東日本大震災被災漁村の復旧過程についても継続的に調査しています。

当面の目標として、日本と海外の例を比較しつつ、漁業協同組合を中核とした日本の沿岸漁業のありかたを海外へ発信したいと考えております。どうぞよろしく御願いたします。

○地理トピ

このコーナーでは、地理に関わるさまざまな話題を紹介します。今回、第1弾として、学生会員向けに熊谷駅周辺の書店を紹介します。地形図や地理関連本などが買える書店をピックアップしました。

1. くまざわ書店

くまざわ書店は熊谷駅のアズセカンドの中にあり、買い物や通学の際に気軽に立ち寄ることができる。店頭においてはカシ米尔解説書や地図帳、地理用語集などが販売されているが、地形図や住宅地図は販売していない。

2. 藤村書店

大学に入っている書店の本店。鎌倉町の商店街の中にあり、地域に密着した本屋という雰囲気である。店舗は2階建てで、1階には一般書籍や雑誌等が販売されている。2階には中高生向けの参考書や、中学校社会科、高等学校地理の教科書などが販売されていることから、教育実習に行く際に教科書などを購入することができる。こちらの店舗では、地形図の販売は行っておらず、取り寄せもできない。

3. 須原屋

八木橋百貨店の8階にある須原屋では、地形図の店頭購入はできないが、取り寄せは可能である。その他、住宅地図(熊谷市、熊谷地区、江南地区、大里地区、妻沼地区、深谷市、行田市)や地図帳、地理関係の本もそろそろ。

4. 戸田書店熊谷店

戸田書店熊谷店は、八木橋百貨店から北に約2km進んだところにある。熊谷駅周辺では、唯一1:25000地形図が店頭で購入できる書店である。1:25000地形図は観光ガイドブックコーナー下段のスチール棚に収められており、わかりづらい場所にある。主に関東、甲信越の1:25000地形図が揃えられている。その他の地域に関しては、取り寄せになる。また、熊谷市周辺の住宅地図も販売している。

(広報委員 飯山和也、井藤志穂、松澤希望 武江翔太)



図 熊谷駅周辺における書店
(武江 作成)

○会費納入のお願い

2015年度分の会費が未納の方には、今回の学会ニュースに「会費納入状況のお知らせ」と「払込取扱票」を同封しておりますので、ご納入下さい。また、過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

※今年度をもって退会を希望される方は、3月末日までにご連絡下さい。ご連絡がない場合は、自動的に次年度継続として、会費の請求を行わせて頂きます。

(庶務会計委員会)

編集後記

若葉が目眩しい季節となり、初夏の兆しが熊谷キャンパスにも訪れつつあります。

本号より「地理トピ」という企画を掲載しました。広報委員会からのインタビューや原稿依頼等がありまし際には、ぜひご協力頂けますよう、よろしくお願いいたします。来月には研究発表大会が行われます。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

(広報委員・松澤希望)

立正地理学会ニュース No.114

2015年5月15日発行 編集者 立正地理学会広報委員会
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453